



金透坂



令和6年 7月16日(火) 学校だよりNo.18 発行責任者 校長 嶋 忠夫

PTA学年対抗親善球技大会が行われました!

7月13日(土)、PTA主催の学年対抗親善球技大会が本校体育館で行われました。コロナ禍により、令和2年度から令和5年度まで休止していましたが、保護者同士の親睦を深めるために、今年度、再開いたしました。PTA厚生部が中心となって企画運営を行い、学年委員長さんを中心に選手を募集し、大会に至りました。

大会は、男女混合8人制家庭バレーボールを行いました。熱気あふれる試合が展開され、各学年の親睦も深まったようです。予選リーグののち、5位決定戦、3位決定戦、決勝戦が行われました。どの試合も白熱したいい試合ばかりでした。また、試合中も笑顔いっぱい楽しく競技している姿が印象的でした。結果は、最上級生の貫禄を見せ、第6学年が優勝しました。準優勝は第1学年でした。

学年の保護者同士がバレーボールを一緒に楽しみ、汗をともにして、本大会の目的である親善と団結が図られた球技大会でした。企画運営をしていただきました、PTA厚生部長の中島さんをはじめ、厚生部の皆様、金田会長はじめ本部役員の皆様、そして参加していただきました、保護者の皆様、本当にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。



ちょっといい話・・・

金透の子どもたちは、兄弟姉妹の仲がいいなと感じます。入学当初は、1年生の弟の手をつないで登校する上級生であるお姉さん、お兄さんの姿が見られ、感心していました。今朝は、先に登校してきたお姉さんに、「妹さんは、まだ家にいるの?」とたずねると、「はい、まだ家です」との答え。「じゃあ、妹さんくるまで、校長先生待っているね」と話すと「ありがとうございます。よろしくお願いします」との返事。立派なお姉さんだなと感じました。

過日行われた、特設音楽部の録音でのこと。制服に着替えて集中して演奏に臨みます。ある下級生の児童が、シャツの袖が長かったようで、上級生が優しくまくってあげていました。

兄弟姉妹だけでなく、上級生がよく下級生の面倒をみています。金透の子どもたちは、いいところがいっぱいです。

